

政務活動報告書

議員名 佐藤 誠洋

実施した政務活動の内容	<input checked="" type="checkbox"/> 研修 <input type="checkbox"/> 視察・調査 <input type="checkbox"/> 陳情・要望	
実施日	令和 7年 3月20日(木) 午前・午後 6時～ 令和 7年 3月22日(土) 午前・午後 8時～	
場所	兵庫県・朝来市・宍粟市	
主催区分	<input type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 会派 <input type="checkbox"/> その他()	
同行者名	塩田 勉 播磨 博一 佐藤 誠洋 青山 豊 寿松木 孝	
行程及び経費	行程(交通機関、算定根拠、人数按分など)	経費 (単位:円)
	羽後交通へ(運賃・レンタカー代)	47,540円
	宿泊代(二泊分)	15,620円
	人数按分経費	5,070円
	高速代 4440円(2720円・1000円・720円)	
	老松酒造視察代 1500円	
	駐車料(ホテル 1320円・空港 1560円)	
	ガソリン代 8534円 お土産代 8000円	
	経費合計	68,230円
実施概要と所感	<p>1. 防災道の駅 丹波のまほろば(朝来市)</p> <p>国は、防災道の駅を全国に39駅設置した。丹波のまほろばはその一つであり、兵庫県のほぼ中央に位置し、また交通の要所でもあり、広域的な防災拠点として位置づけられている。建物の耐震化、無停電化、通信や水の確保等により、災害時においても業務実施可能な施設となっている。施設の維持管理費は国が60%、指定管理先36%、朝来市4%。高速道路からも入れて、有事の際や救急搬送時には一般道に入れるようになっている。どちらかというと、朝来市の避難所というよりは、後方支援拠点であり、課題は普段施設をどのように活用していくか、ということ。この施設に限らず、災害に備える施設、備品を普段の活用はどうするのか、は重要な視点と感じた。また、普段から市民の災害に対する心構えの醸成の重要性を感じた。朝来市はこの施設を民間に指定管理しているが、指定管理料は支出しておらず、逆に、施設修繕積立金を毎年2000万円頂いているとのこと。施設修繕費は民間が賄うとのことが横手市とは全く異なり、印象強く残った。</p> <p>2. 発酵のふるさと 老松酒造(宍粟市)</p> <p>日本酒発祥の酒蔵であり、景観形成重要建造物の指定を受けている。伝統的な酒造りをしながら、発酵食にも新たな分野として取り組んでいる。最も印象強かったことは、「3年先までお米農家さんと契約が済んでいて、お米の心配はしなくてもいい。」ということ。横手市長は先ごろ酒造組合からの依頼で、酒米の安定確保に向けて庁内に指示した、とのこと。あくまで民間の責任のことであり、老松酒造さんの経営を模範にして頂きたい。</p>	

※同じ項目がある場合は他の様式でも可とします。